

平成30年度 公共事業事後評価調査

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補** **県単**

事業名 道路事業〔緊急道路整備改築費(国補)、地域振興県道整備事業費(県単)〕		事業箇所 山梨市下石森～歌田	地区名 (一) 山梨市停車場線(重川橋)	事業主体 山梨県
(1) 事業着手年度	H18年度	(2) 事業期間	H18年度～H25年度	(3) 完了後経過年数 5年
(4) 総事業費				1,617百万円
(5) 事業着手時点の課題・背景			(8) 事業位置図等	
<p>山梨市中心部と国道411号、国道20号及び中央自動車道一宮御坂ICを最短で連絡する重川橋は、架設(昭和11年)から68年が経過した老朽橋である。</p> <p>調査の結果、コンクリート桁のずれやひび割れの発生、桁端部の圧縮破壊や床版の損傷が確認され、著しい耐久力不足と耐震性不足となっていることが判明した。</p> <p>さらに車道幅員が4.5mと狭小で重量制限も14tであることから、交通の隘路となっており早急に架け替える必要が生じていた。</p>			<p>凡例 — 今回事業評価箇所</p> <p>道路改良 L=520m W=6.5(13.5～14.5)m</p> <p>橋梁 L=156m H18～H25</p>	
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果				
<p><input type="checkbox"/> 主要目標</p> <p>○災害に強い道路の確保(老朽橋架け替え)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標</p> <p>○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上(山梨市～中央自動車道一宮御坂IC)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果</p> <p>○歩行者の安全性の確保(学校の通学経路)</p> <p>○アクセス機能の維持(橋梁区間の通行止めにより迂回に2倍以上の時間が必要となる路線)</p>				
(7) 整備内容(目標達成の方法)				
<ul style="list-style-type: none"> 重川橋(L=144m)架替え→L=156m 車線数 1 → 2 車道幅員 4.5m → 6.5m 重量制限 14t → 重量制限の解除(25t) 				

2.評価シート(1)

(1) 事業貢献度

〈良・不良〉

(理由)

災害に強い道路の確保を目的に、老朽度が1.13と高い重川橋を架け替え前1車線(車道幅員4.5m、重量制限14t)から架け替え後2車線(車道幅員6.5m、重量制限の解除(25t))に改良したことにより、山梨市から中央自動車道一宮御坂ICまでのアクセスが向上した。

①主要目標 災害に強い道路の確保

指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等
危険度	耐震未補強・耐荷未補強	すべて解消
損傷度等	老朽度1.13 ^{*1}	損傷なし
緊急輸送道路の指定	有	有
自動車交通量	6,118台/12h	4,646台/12h

*1 老朽度=経過年数÷耐用年数

□評価

老朽化した橋梁を架け替えにより安全性が向上した。また、車線増により災害時に機能的かつ迅速に対応できるようになった。

②副次目標 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上

指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等
混雑時走行速度	27.2km/h	32.5km/h
自動車交通量	6,118台/12h	4,646台/12h

□評価

橋梁の掛け替えにより、すれ違い困難箇所が解消され緊急車両等の円滑な通行が確保できるようになった。

③副次効果

項目	内容
歩行者等の安全性の確保	両側歩道設置
アクセス機能の維持	通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要となる道路の解消

④その他の事業効果の発現状況

本路線は山梨市を南北に縦断しており、中でも中央自動車道一宮御坂ICから観光施設までの重要な周遊ルートとなっている。今回の事業により、ボトルネックとなっていたすれ違い箇所が解消でき、スムーズな車両の通行ができるようになった。

また、近隣に山梨南中学校、日川高校が位置し、生徒が安全に通学できるようになった。【歩行者・自転車交通量 548人台/12h】

(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化

〈有・無〉

項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点	
総事業費	1,650 百万円	百万円	1,617 百万円	
工期	H18~H25	~	H18~H25	
評価基準年				
経済効率性	費用	百万円	百万円	百万円
	建設費	百万円	百万円	百万円
	維持管理費	百万円	百万円	百万円
		百万円	百万円	百万円
	便益	百万円	百万円	百万円
	走行時間短縮便益	百万円	百万円	百万円
	走行費用減少便益	百万円	百万円	百万円
	交通事故減少便益	百万円	百万円	百万円
	その他	百万円	百万円	百万円
	B/C	老朽化した橋梁の架替事業のため未算出		

(要因変化の分析)

(3) 事業実施による環境の変化

①自然環境への影響

なし

②生活・居住環境等への影響

中央自動車道一宮御坂ICと山梨市市街地へのアクセスが向上し、地域内の交流に必要な道路の安全性が確保できた。

③環境保全対策の効果発現状況(措置を講じた場合)

なし

(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響

①社会経済状況の変化

なし

②関連計画・関連事業の状況の変化

なし

③事業環境等の変化

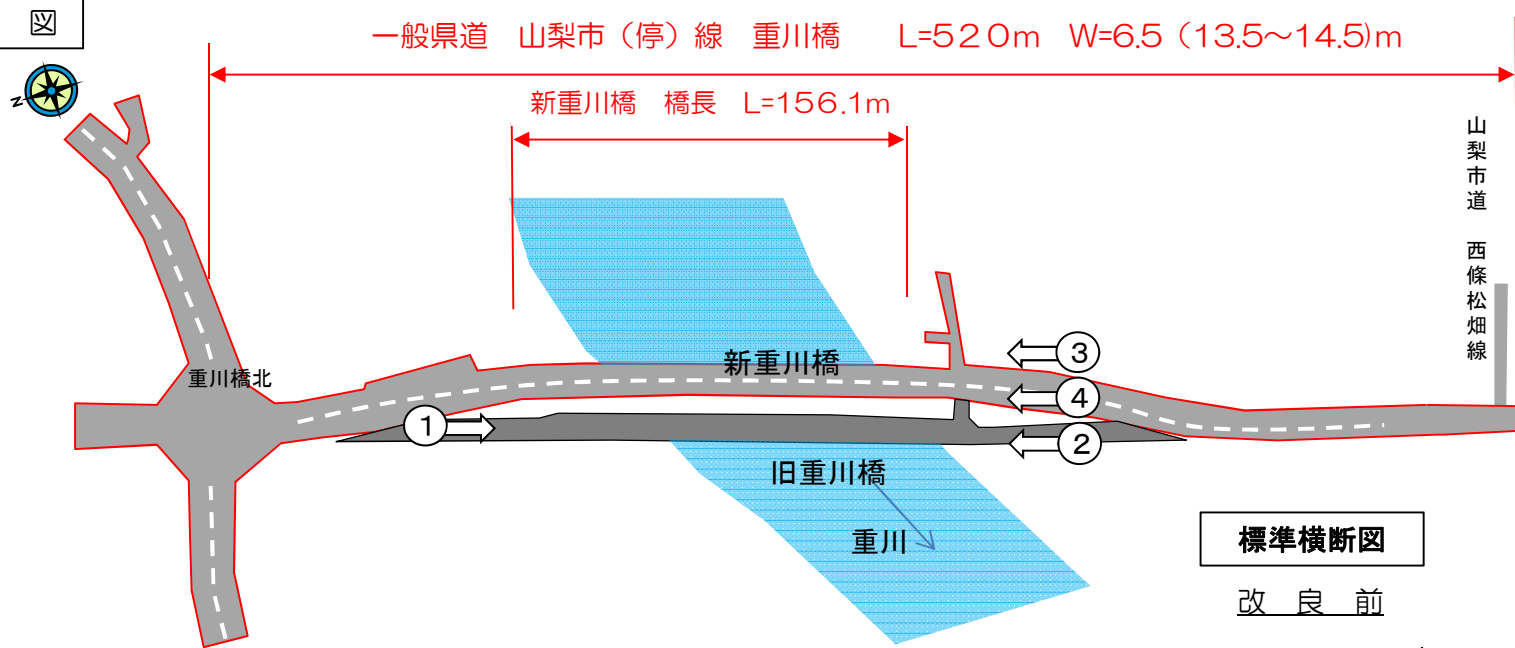
なし

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由) 評価シート（1）により、評価時点において通行車両の防災・安全機能が確保されるとともに、円滑な通行が確保され、生活圏中心都市間のアクセス機能の向上が図られたことから、所期の目的が達成されている。 このため、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p>□「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果) なし</p>	<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p>
	<p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p> <p>なし</p>

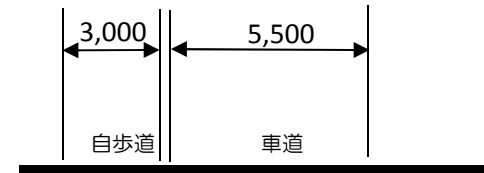
3. 添付資料シート(1)

平面図

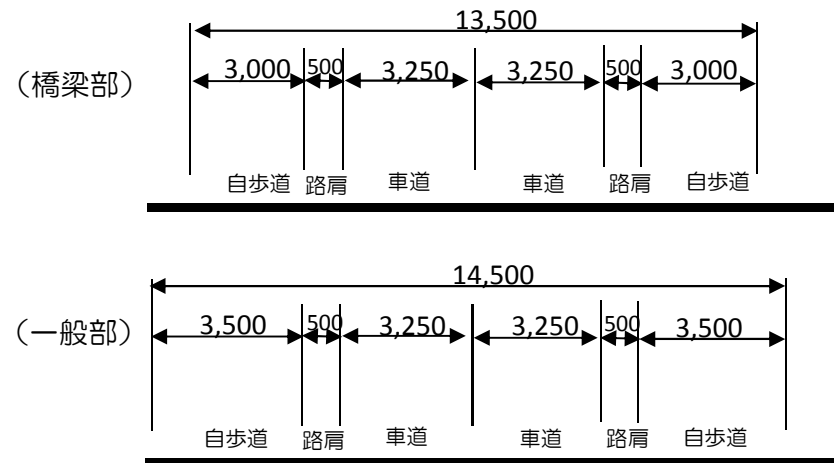


標準横断面

改良前



改良後



位置図



①

整備前



③

整備後 通学状況



②

整備前 大型車通行状況



④

整備後 大型車通行状況

